

城南衛生管理組合
管理者 松村 淳子 殿

2022 年度:城南衛生管理組合
環境マネジメントシステム 外部評価報告書

2023 年 1 月 25 日
外部評価員 吉田康夫・芦原昇
(文:芦原)

外部評価実施日 2023 年 1 月 24 日—25 日
外部評価実施所属 ・リサイクルセンター長谷山・クリーン 21 長谷山
・エコ・ポート長谷山・沢中継場・EMS事務局

【総合評価】

以下の項目の評価により、マネジメントシステムは『組織にとって適切であり、運用は妥当であり、意図した目標に対し有効である』と判断します。

【システム運用】

1・今回の評価は「2021 年 4 月 1 日付:城南衛生管理組合環境マネジメントシステム運用マニュアル第 4 版」に基づいて実施しました。

環境側面の抽出/環境影響評価→著しい環境側面の決定に基づいて、活動の展開(目標・維持管理・中長期計画・緊急事態その他)が行われています。順守評価、内部監査、緊急事態への準備及び対応等は適切に実施されています。

2・マネジメントレビュー

令和 4 年 5 月 26 日に専任副管理者、両部長、環境管理責任者によるマネジメントレビューが実施されました。レビューでは、内部監査、環境目標等の達成状況、環境関連情報及び社会的動向の変化や利害関係者からの要望、順守評価の変化等を中心に行われています。更には環境に対する歩みを止めることなく、引き続き職員の意識向上に向けての取り組みに対する、強い意気込みが示されています。

3・専任副管理者の指示事項

マネジメントレビューに基づいた指示事項は、次のとおりです。

- ・(1)環境方針並びに環境目的・目標から
- ・(2)商品選択時の環境配慮等について
- ・(3)2050年カーボンニュートラルの実現について

〈トップインタビュー〉

・プラスチックを減量一辺倒だけにとどまらず、発想の転換で有効利用にも力を入れるとの意気込みを見せられました。カーボンニュートラルの観点からも、温暖化対策に期待が持てます。

また、プラスチック新法も視野に、長年の課題である、ごみ減量についても、構成市町と新たな協議の場を設置し、一層連携しながら計画的に取り組んで行く、強い姿勢の表明がありました。

【主要項目の評価】

1・計画：目標の管理

城南衛生管理組合では、目標の設定には、3つの枠組みが示されています。
「組織全体の共通目標(循環型社会、脱炭素社会の構築をめざす)」
「各サイトごとの目標(安心・安全な施設運営)」
「各サイトごとの目標(循環型社会、脱炭素社会の構築をめざす)」があります。

(ア)2021年度の目標達成状況

・組織全体の共通目標	8件⇒達成	5件	達成率	62.5%
・各サイト(安心・安全)の目標	7件⇒達成	3件	達成率	42.9%
・各サイト(循環型社会実現)の目標	11件⇒達成	7件	達成率	63.6%
合計	26件⇒達成	15件	達成率	57.7%

(イ)2022年度の部門目標達成状況(2022年4月～12月)

●リサイクルセンター長谷山

目標:不適物混入割合をR3年度実績24.56%以下⇒実績23.8% 達成中

目標:施設に搬入された小型家電等を1,000kg以上回収⇒実績:達成中

●クリーン21長谷山

目標:不完全燃焼時CO排出濃度29ppmの超過回数12回以内⇒実績8回 達成中

目標:奥山排水処理施設の排水 COD10 mg/l 以下⇒ 実績:達成中

目標:事業系一般廃棄物展開検査の排出者指導及び搬入責任者指導の割合 10%以下⇒ 実績:未達成

●エコ・ポート長谷山

目標:ペットボトルの資源化率を R3 年度実績 88.38%以上⇒ 実績 90.74%
達成中

目標:体験学習等のイベントで年平均応募倍率 1 倍以上⇒ 実績:達成中

●沢中継場

目標:4 台の中継車、平均燃費 R3 年度比維持向上⇒ 実績:達成中

2・法的及びその他の要求事項

事務局にて作成された「環境関連法規制登録一覧表」では該当法令及び対象サイトが指定されています。対象サイトでは、「法的要求事項等一覧兼順守報告」が作成され、該当月に要求事項を実施し、記録しています。半期ごとに同報告を EMS 事務局に提出し、事務局で確認しています。定期的な見直しは、毎年 4 月にされています。

3・内部監査

直近の実施状況 2022 年 7 月 21 日～8 月 1 日 監査員 10 名(登録監査員 40 名)

内部監査チェックシートを使用して、きめ細かな監査を展開しています。

称賛事項:15 件、要望事項 17 件、観察事項 7 件、不適合 2 件

審査員は自部門の審査を行わない等、監査における公平性や適切性が認められます。

称賛事項や指摘事項の内容も、抽象的なものが少なくなりました。しかし、まだ抽象的な表現も見受けられます。特に称賛事項は、サイトに勇気を与えると同時に、他のサイトへの水平展開(自分のサイトでも、良いことはまねようとする)の狙いもあります。一方、仕組みの有効性に対する監査については、更に研鑽される余地を感じます。教育訓練の内容が、仕組みを担う職員の力量アップにつながっているのか、目標の進捗項目が目標改善につながっているのか、所属目標が本当に組織課題になっているのか・・・等更に監査員としてのスキルを向上させてください。

4・評価結果

(ア) 称賛事項

●リサイクルセンター長谷山

目標を単に数値化するだけでなく、数値内容を深く吟味し、職場課題をマネジメントシステムの仕組みの中で、解決しようとする試みは、特筆もの。小火災を防止する場所は、前回の審査時より、更に安全対策を強化されています。(監視場所の手すり、火災危険物の取り出し作業追加など)

●クリーン 21 長谷山

温室効果ガス削減の最大のポイント職場として、混入するプラスチックを削減するために、展開検査の実施など日々努力されています。

また、アンモニアの取り扱いについての緊急訓練においては、経験者のノウハウを駆使し、テストされています。

環境まつりに出展されたミニクレーンは、貴組合の業務内容に市民が興味を持ちやすく、ひいては、ごみ減量の協力を理解が得られやすい啓発資材として特筆。

●エコ・ポート長谷山

体験学習と施設見学を合わせて、魅力あるイベントを毎回考え、応募者が常に100%を超えているのはすごい成果です。体験学習の中身についても、エコポートの仕事にとどまらず、温暖化などの項目を盛り込まれています。

●沢中継場

世の中のごみ事情が変化する中、的確に施設建設を進められる姿勢は、素晴らしいと思います。想定外の出来事にも、マネジメントシステムの仕組みを基礎に、フレキシブルな考え方を継続し、施設運営をお願いします。システム文書は、整理され、審査員の質問にも、迅速に対応されました。

●EMS 事務局

一気に効果が表れる仕組みではないので、日々のご苦労は推察します。

しかし、拝見させていただき、全体のスキルは確実に上がっています。

地球温暖化防止「2050年カーボンニュートラル」に向けた取り組みの第一段として、貴組合では「2030年:46%削減」のロードマップの作成を進められています。具体策と予定実績が各部門より示され、実効性の高さが窺えます。熱心な取り組みに敬意を表させていただきます。今後地道に、カーボンニュートラルへの取り組みを浸透させてください。安全推進室の活動がしっかりしているので、専任

副管理者も安心して、いろいろな提案が可能になっていると思います。

5・要望事項

- (ア) 仕組みをより有効にするために、更なる教育訓練の内容を検討してください。
専任副管理者の指示事項は、研修に取り入れられることをお勧めします。